

## 日立ソリューションズ 竹田 広光社長



「日立製作所2021中期経営計画」の初年度となる19年度は親会社の日立、日立ソリューションズと連携して取り組み、日立ソリューションズが順調に拡大、産業や社会・公共などが好調だ。20年度はSIIの品質を高める施策を打つとともに、「モバイル」「セキュリティ」「AI(人工知能)」「IoT」「働き方改革」の4領域を重点的に強化する。

国内のIT投資が堅調な背景からSII案件は伸びている反面、システムの大規模運用でも快適に使用できるような計画で20年度上期に発売する。

「実証実験」が進む。20年度は事業化できるサービスを見いだしたい。

働き方改革は日立ソリューションズと連携し、就業管理ソリューション「リシテア」を展開するとともに、独自のオプショ

## モバイルなど4領域を重点的強化

中堅中小企業に訴求していく。同時に社内での働き方改

革にも取り組む。新規事業の創出などに向けた施策も打っていく。この一年で様々な大

得意領域のモバイルは長年のノウハウを生かした「モバイルスクエア・プラス」が好調で、幅広く引き合いがある。今年から5Gの商用化が始ま

さらに、AI・IoT事業推進本部が中心となり「AIプラス」を展開。今あるものにAIを開き、新たな価値を創出しており、POC

は新規投資を行いながら新たなソリューション展開を加速する。

セキュリティ技術者を強化する計画だ。脆弱(ぜいじゃく)性サービスなども提供する。

創出しており、POC

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。

